
は・つ・こ・い

神崎 琉威

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

は・つ・こ・い

【Nコード】

N9239P

【作者名】

神崎 琉威

【あらすじ】

ネットで知り合った男の子に恋をしてしまう、主人公。顔も知らない、声も知らない。しかも、年上…中3の女の子が体験する初恋の味と失恋の味。

(前書き)

ネットで知り合ったあいつ。相談にのってくれるだけの相手だったのに…ただ、それだけだったのに…
そんな…感情…アリ…ですか…？
好きなんかじゃないはず…そう、違う…と信じたい。

「私の信じてる人が傷つくのはもう見たくない」

…なんてかつこつけた文章を改めてみて泣きそうになる。それと同時に数学の先生の

「いいか、お前らはまだかつこつけるのには早すぎんだよ、だからな、簡単にするために（ ）は外すんだ。わかったか？」

なんて言葉を思い出して笑いそうになる。酷い顔だ。何とも言えない、苦しげな顔。何をそんなに苦しんでいるのか…そんなの自分でもわからないけど、すごく酷い顔だ。

「両親が離婚するかもしんねえーんだ」

と珍しく絵文字がなく、短いメールが届いた。夜中にだ。無理に明るく振舞っているのがわかる。2、3分後に

「もう、連絡とれねえかも…」

と無駄に星がついたメールが続けて送られてくる。さて、私はなんて返信すべきなんだろう。どんな言葉をかければいいのだろう…。答えは、わからない…。だ。私にわかるはずがない。別に、特別綺麗じゃない指の短い手がキーボードの上を滑るように動く。

「そっか…寂しいな」

そつけないメール。2分ほど考えたけど、やっぱり無理、思いつかない。しかたなく送信をクリックする。

返信しました、と無機質な音声と文。ぼーっとその画

面を眺める。完全に無の状態だった私をここに戻してきたのは、

「新着メール1件」の文字。急いでメールを開く、手が震える。

メールの内容は

言葉が心にのしかかる。漬物石みたいにずっしりと、少しずつ。漬物から水分が抜けていくように、私の両目から涙が零れだす。

改めて実感する。私はこんなにもあいつを好きだったんだって…なんて言わないよ。言葉にしたら軽くなってどこまでも飛んで行っ

ちやうもん。

思いつきり泣いて、思いつきり笑って…めっちゃ、傷ついて…それが、恋っつーもんなんだと思う。

まだ、15年しか生きてない私だけどき、これが恋なんだと思う。

初恋は叶わないっていうのは、事実だったみたいデス。

苦くて、酸っぱくて、この世で1番まずいのは、初恋だと思う。

あ、でもね、ちよっぴり甘いんだよ？知ってた？

(後書き)

人生、初小説です。中1なので、言葉の使い回しなど、おかしなところもあると思いますが、温かい目で読んでやってください。

これは、主人公の目線で書いたのですが、女の子の気持ちをたくさん入れました！！（入れたつもり？）

やっぱり、誰にだって忘れられない初恋はあるもので、それを忘れてほしくない、と思いこれを書きました。

中学生にしかかけない文だってある、ということを知っていただけだと思います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9239p/>

は・つ・こ・い

2011年1月8日23時24分発行